

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年11月9日
都市名・国 大阪府大阪狭山市・日本

取組の名称	平和を考える市民のつどい～Think The Peace2018～
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合（大阪狭山市人権協会、市、市教育委員会、市文化振興事業団共催）
テーマ・目的	平和啓発事業
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民（600人）
実施場所	大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール小ホール・ホワイエ）
実施期間	2018年8月4日～2018年8月4日 ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。
<p>取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）</p> <p>○映画「この世界の片隅に」上映</p> <p>○儀間比呂志さん作品展 沖縄戦を中心とした版画作品の展示。 大阪狭山市に縁があり過去に平和事業において儀間さんの作品をテーマにした舞台表現を上演している。今回、立命館大学国際平和ミュージアムへ作品が寄贈されたことから、作品展の実施が可能となった。</p> <p>○核兵器廃絶の署名や平和の折り鶴の呼びかけ</p> <p>○夏のおはなし会 8月5日（日） 午前11時～11時40分 市立図書館で、「さやまおはなしの会」による平和に関する絵本の読み聞かせ会を行う。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>映画のテーマ、戦争と日常を自分のこととして考えた感想が多く見られた。 自身が戦争を体験したというアンケートが多く見られた。 戦争体験を子どもたちに伝えていかないといけない、どのように伝えるのかについての意見や感想が多く見られた。</p>	
<p>成果</p> <p>話題性のある映画で、上映回数や周知方法を工夫した結果、過去最多の参加者があった。 子どもや家族連れなど幅広世代の参加があった。 広島、沖縄という日本の中でも象徴的なテーマを取り上げることで、戦争の記憶を伝えなければならないという感想が多くあったことは平和啓発につながった。</p>	
<p>課題</p> <p>次年度以降同様の参加者数を見込める事業を実施できるか。 沖縄、広島だけでなく地元大阪をテーマにした映画作品がない。</p>	
<p>取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）</p> <p>版画、映画作品</p>	
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください） <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

平和を考える市民のつどい



映画 この世界の片隅に

[1回目] 開場/午前9時15分 開演/午前10時
[2回目] 開場/午後1時 開演/午後1時45分

18歳のすずさんに、突然縁談がもちあがる。

良いも悪いも決められないまま話は進み、1944(昭和19)年2月、すずさんは呉へとお嫁にやってくる。呉はそのころ日本海軍の一大拠点で、軍港の街として栄えていた。

見知らぬ土地で、海軍勤務の文官・北條周作の妻となったすずさんの日々が始まった。

配給物資がだんだん減っていく中でも、すずさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

1945(昭和20)年3月、呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すずさんが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。

そして、昭和20年の夏がやってくる――。

主演：のん 原作：こうの史代 音楽：コトリンゴ 監督：片須須直 上映時間129分



展示 儀間比呂志作品展

[会場] 小ホールホワイエ
[時間] 午前9時15分～午後4時30分

儀間 比呂志(ぎま ひろし) 1923年～2017年

沖縄生まれ。18歳から約3年間をテニアンで過ごす。

海軍に従軍後、横須賀で終戦を迎える。戦後、大阪を拠点に制作活動をはじめ、版画を中心に数多くの作品を生み出す。

1956年からは沖縄で取材を続け、人々の暮らしや祭りといった日常風景、沖縄戦やアメリカ軍基地問題などをテーマとした作品を数多く描いた。沖縄戦体験者の証言は、戦争への憎しみと怒りを抱かせ、ライフワークとしてこの主題を描き続ける原動力となった。今回は立命館大学国際平和ミュージアムに寄贈されたコレクションから9作品を展示予定。



所蔵：立命館大学国際平和ミュージアム

親子で学ぶ平和スタディツアー

参加無料

親子で語り部の伝える戦争体験を聞き、戦跡を見学し、平和について学ぶバスツアーです。参加する人は、8月4日に開催する「平和を考える市民のつどい」で上映する映画「この世界の片隅に」の1回目に優先的に入場できます。

とき 8月11日(土) 午前9時～午後4時
ところ ビースおおさか、大阪城公園(大阪市中央区大阪城)
対象 市内在住・在学の小学4～6年生と保護者(子どもだけの参加はできません)
行程 大阪狭山市役所～大阪城周辺フィールドワーク～昼食～ビースおおさか見学、語り部のお話し～大阪狭山市役所
定員 おおむね10組20人(先着順)
持ちもの 昼食、飲みもの、帽子、筆記用具
申し込み 住所、名前、生年月日、電話番号、メールアドレスを電話で市民相談・人権啓発グループへ。ファクシミリ(FAX072-366-0051)、電子メール jinken@city.osakasayama.osaka.jp も可。19日(休)必着。



夏のおはなし会

参加無料

平和に関する本の読み聞かせ

とき 8月5日(日) 午前11時～11時40分

ところ 図書館・おはなしの部屋

協力 さやまおはなしの会

原爆死没者の慰霊と平和祈念黙とうを

昭和20(1945)年8月6日広島に、9日長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われました。両市では、それぞれの日に原爆死没者のめい福と世界の恒久平和を願う式典が開かれ、原爆投下時刻に合わせて1分間の黙とうが捧げられます。皆さんも職場や家庭で黙とうをお願いします。

8月6日(月)午前8時15分、8月9日(木)午前11時2分

主催 大阪狭山市人権協会、大阪狭山市、大阪狭山市教育委員会 共催 公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団
問い合わせ 大阪狭山市市民生活部 市民相談・人権啓発グループ ☎072-366-0011

この世界の片隅に

昭和20年、広島・呉。

わたしはここで生きていく。



©この史代・双葉社 / 『この世界の片隅に』製作委員会

平和を考える市民のつどい
Think The Peace 2018

入場無料

8月4日(土)

- 場所 SAYAKA ホール・小ホール
- 時間 10:00(開場 9:15) 13:45(開場 13:00)
- 定員 各回 300人(当日先着順、入替制)
日本語字幕あり、保育あり(未就学児定員5人)